

～外部委員の先生からのメッセージ～

いつも応援ありがとうございます

しずかちゃんを見習って

安全委員会開設10周年の大事な節目の式典にも関わらず、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため残念ながら欠席させていただきます。

皆さんは、感染症の流行にも関わらず、友達と元気に過ごしていることと思います。そこで友達同士「仲よし」であり続ける為に、1つだけお話しします。

皆さんは、アニメ『ドラえもん』の登場人物の中で、だれに1番なりたいですか？ひみつ道具を次々と繰り出すドラえもんでしょうか？「おれがおれが」と威張るジャイアンでしょうか？「ぼくはいいよ、君に譲るよ」と言う優しいのび太くんでしょうか？

人とお付き合いする上では、優しく前向きで、しかも「ダメなものダメ」と誰にでも言うことができ、他人の考えを認めつつも自分の考えも主張できるしずかちゃんがもっともおすすめの人物です。

生活する中で、いろいろと大変なことがあると思いますが、しずかちゃんを見習って話し合いをしながら、みんな仲良く過ごしてもらいたいと思います。どうかみなさん、ますます寒くなってきてますが、感染症などに負けず、元気でお過ごしください。

札幌市立東月寒中学校 工藤 伸哉 校長

羊ヶ丘養護園のみなさん、職員の皆様、安全委員会10周年記念集会の開催、おめでとうございます。園で生活しているみなさんへ応援メッセージを送らせてもらいましたので聞いて下さい。

学校でも園でも、たくさんの方が集まって共同生活を送っているのでも、何かしらの問題はどうしても起きてしまいます。困った事や嫌だと感じる事が起きた時に、園の皆さんは、安全委員会の三つの約束を大切にしながら解決に向け、頑張っていることと思います。

それでも上手くいかない時があるはずですが、そんな時は、周りの人、友達や大人を頼ってください。困っている事を相談して下さい。周りの人は、必ず皆さんの力になってくれます。

昨年の集会でもお話しましたが、大畑園長先生の講演会を聞いて、心に強く残っている言葉があります。それは、『言葉は人の心を傷つけることがある。でも、言葉で人の心を救うこともできる。』というお言葉です。

養護園のみなさん、ぜひ、言葉でたくさんの人を救ってあげてほしいと思います。いつも皆さんのことを応援しています。

札幌羊丘小学校 三國 昌人

羊ヶ丘養護園安全委員会10周年記念集会、おめでとうございます。

今年は、新型コロナウイルスの影響により、学校の休校、各行事の縮小、及び自粛等、いろいろと我慢を強いられた1年です。園の皆さんにおいては、日頃より、イライラした時、外で身体を動かさず、お気に入りの漫画を読む等、工夫されて生活していることと思っています。

誰でも腹立たしいときがありますが安全委員会の3つの約束を思い出しながら、話し合い、歩み寄って、皆で穏やかに過ごしましょう。来年は、今年よりも良いことがあると信じて、引き続き、それぞれの目標に向かってしっかりと歩んで行きましょう。

札幌市児童相談所相談判定二課長 塩越 寛史

子ども達の意見表明

今回、新型コロナウイルスの感染防止のため記念集会自体が時間短縮となり、意見表明は代表者のみとなりましたので、皆が考えてくれた意見表明をここに載せました。目標に向かって、また一年頑張ってください！！

スズラン

私は、小さい子に何回も暴力を振って安全委員会で2回厳重注意を受けてもまた暴力を振ってしまったので、安全委員会の約束で児童相談所に一時保護になりました。児童相談所では暴力について落ち着いて考えました。私も3年前に、大きい子から暴力を振られました。その時、痛くて怖くて、やめて欲しいと思ったし、すごく嫌だったのに、私は小さい子と同じことをしていました。児童相談所では、イライラして暴力を振るいそうになったときは、部屋に行く、先生に話を聞いてもらう、ミンティアを食べて気持ちを切り替えることを約束しました。そして、先生や他の子に「やめて」と言われたら「やめる」、先生に「離れて」と言われたら「その場から離れる」、「話そう」と言われたら「話をする」、ことも約束しました。そして、暴力ではないけど相手に嫌がらせをすることは、ダメだと思っているけどやってしまうことがあります。それも気を付けて行かなければならないと思います。一時保護から帰ってきた時にユニットのみんなに暴力をしたことを謝って、これから暴力をしないと約束しました。これからは、暴力や嫌がらせのない平和な生活を送る事が出来るようにしていきたいです。 Aさん

私が羊ヶ丘養護園で働き始めてから1年半が過ぎ、毎日子ども達と色々な時間を一緒に過ごしてきました。楽しい時間はもちろんですが、悲しいことがあったり、怒ることもたくさんあったと思います。その中でも大変だなと感じることは、ユニットの中で暴力や嫌がらせが起ってしまった時です。安全委員会をこの1年半で何度も行いました。スズランでは、10月にAさんが暴力をやめることが出来ず、安全委員会の約束で一時保護となりました。Aさんが一時保護所で過ごしていた期間、自分のやってしまったことを振り返り、反省している姿を見ることが出来ました。児童相談所で、暴力を振るわない為に出来ることを一生懸命考えて、また養護園で生活したいという気持ちが十分に伝わってきました。ただ、どんな理由があっても人に暴力や嫌がらせをしてはいけません。Aさんにはまた同じ失敗をしない為に、養護園の先生達や、児童相談所の先生にたくさん助けてもらっているという事を忘れず、生活して欲しいです。また、養護園で生活をしていく子ども達が安心・安全に生活できるように、そしてコロナウイルスの影響で例年に比べて、活動が減っている日々ではありますが、その中でも毎日の生活の中で1つでも楽しいと思えることがある日々を、送ってほしいと心から思います。 職員 秋山咲季